

西日本小学児童のアレルギー疾患罹患率調査

出典	日本小児アレルギー学会誌(0914-2649)7巻2号 Page59-72(1993.05) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/1994037352)
著者	西日本小児気管支喘息研究会・罹患率調査研究班
調査地域	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、大分県、宮崎県、山口県、 沖縄県、兵庫県、香川県
調査時期	1982年
調査対象	小学生
依頼数	55388人
回収率	96.5%
診断方法	ATS-DLD
有症率	15.89%
男女別有症率	男：19.22% 女：12.49%
調査概要	西日本の小学生のアレルギー疾患の調査論文。約30%が何らかのアレルギー疾患を有し、都市部や家族歴を有する場合に多く、アレルギー性鼻炎・結膜炎、花粉症は高学年で多く、アトピー性皮膚炎以外は男子に多い。